

## 第1回 北広島市地域包括支援センター運営協議会 会議録

日 時	令和2年6月4日(木) 18:30~19:10
場 所	北広島市役所 5階 委員会室
出席委員	安孫子章平委員・伊藤正秀委員・奥田正幸委員・北村晃久委員・小早川俊哉委員 土田孝行委員・三熊秀範委員・吉田住代委員・和田光正委員 (五十音順)
欠席委員	今井良成委員
事務局	三上保健福祉部長・工藤高齢者支援課長 柄澤高齢者・障がい者相談担当参事・浜山主査・五十嵐主査 濱田きた高齢者支援センター管理者・林みなみ高齢者支援センター管理者 佐藤にし高齢者支援センター管理者・池ひがし高齢者支援センター管理者
傍聴者	1人
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 あいさつ</li> <li>2 開 会</li> <li>3 報告案件 <ul style="list-style-type: none"> <li>【報告第1号】令和元年度北広島市地域包括支援センター運営報告</li> <li>【報告第2号】地域包括支援センター運営状況調査結果(平成30年度分)</li> </ul> </li> <li>4 審議案件 <ul style="list-style-type: none"> <li>【議案第1号】令和2年度北広島市地域包括支援センター運営方針(案)</li> </ul> </li> <li>5 その他</li> <li>6 閉 会</li> </ol>

## 1 挨拶

高齢者・障がい者相談担当参事より挨拶。

## 2 開会

委員 10 名中 9 名が参加。委員の半数が出席していることにより会議成立。

事務局案として、北村委員を第 1 回北広島市地域包括支援センター運営協議会会議録の署名委員としたい旨を諮り、了承された。

## 3 議事

### (1) 報告案件

【報告第 1 号】令和元年度北広島市地域包括支援センター運営報告

【報告第 2 号】地域包括支援センターの運営状況調査結果（平成 30 年度分）

事務局及び各高齢者支援センター管理者より資料に沿って説明

### (2) 審議案件

【議案第 1 号】令和 2 年度北広島市地域包括支援センター運営方針（案）

事務局及び各高齢者支援センター管理者より資料に沿って説明

## <質問・意見>

### (1) 報告案件

#### ○会長

みなみ高齢者支援センターのいろいろな活動件数を見ますと、他の 3 つの高齢者支援センターに比べて、非常に件数が多いようですが、現在の人員配置で大丈夫なのか、何か若干考慮されている点はあるのかを伺います。

#### ○事務局

令和元年度 3 月までの人員配置は、この表のとおりになっていますが、4 月からは、プラン専任者 3 名が 4 名に増え、生活支援コーディネーターの 0.5 名がさらに 0.5 名増えて、人工では合計 2 名増えています。そうすることで、三職種の業務が、少し他の職員に移行できて、相談が受けられる体制がとれないかと考えて対応させていただいています。ただ、それがすべての解決にならない部分もあるかと思しますので、今後も相談件数の伸びを見ながら、人員配置を検討しなくてはならないと考えております。

#### ○会長

ありがとうございました。その他ございませんでしょうか。

(一同承認)

それでは報告第 1 号は、これで皆さんに了解をいただいたということで、次の報告第 2 号、地域包括支援センター運営状況調査結果ということで、事務局から

説明をよろしく申し上げます。

○事務局

全国と比較できる最新の平成 30 年度評価をお示ししました。54 項目の評価指標のうち、北広島市の地域包括支援センターが、まだ十分にできていない項目が、4 項目ありました。これは、市が体制を整えていない結果でもありますので、後ほど報告します運営方針に一部盛り込みまして、改善を図っていこうと考えています。

全体的には、北広島市の地域包括支援センターは、丸が多い傾向になっています。

○会長

ただいまのご報告に対して、ご質問等ございませんでしょうか。

全体的にはうまくいっている、評価もよいということでご理解いただいて、これで御了解をいただいたということですのでよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございました。

## (2) 審議案件

○A 委員

今年度、新型コロナウイルスの影響等で、集まることが、かなり難しくなっていくのかと思います。集まれないと、市民や関係機関等からの情報が少なくなり、高齢者虐待の発見がかなり厳しくなるのではないかとすることも予測されます。虐待については、かなり真剣に、具体的に取り組んでいただきたいと要望します。

運営報告で、虐待の相談実数はそれほど大きく増えてはいませんが、むしろ虐待として認定されたケースよりも、グレーに近いケースが多くて、このような数字になっているのではないかと思います。新型コロナウイルスの影響で、不要不急の外出をしないですとか、サービス利用を控えるなどがあった時には、かなり家庭内で、虐待に近いようなケースも出てくるのではないかと懸念されますので、対応をよろしく申し上げます。

○会長

ありがとうございました。要望事項ということでお受け取りをいただければと思います。その他、ございませんでしょうか。

○B 委員

コロナ影響で、家族も（会いに）来られない、施設にも入れない、病院にも行けない、自宅でさみしく亡くなっていたという話を聞いたことがあります。看取りの部分も含めて、このコロナ渦という新しい環境はまだ続くと思うので、つながりをどういうふうにされるのか、まだ検討されてはいないでしょうか。

○事務局

まだ、具体的には、検討の途中でありまして、今お示しできるものはないのですが、各高齢者支援センターからも、コロナ対策については、重点項目ということで、挙げられておりますので、市としましても高齢者支援センターやケアマネジャーさんと共に、何ができるのか検討してまいりたいと考えております。

○B 委員

ぜひとも、よろしくお願ひしたいと思ひます。北広島独自のケアのあり方を考えていくことも必要ではないかなと市民として思ひています。このまちが、できるだけ高齢者に優しい町であつてほしいと願ひていますので、出来るだけ早急にいろいろな手を打つていただきたいと思ひます。

○会長

高齢者に対する支援というものは、減ることはないと思ひます。それに加えてこのコロナは、人間に対する挑戦だと思ひますので、これは市役所だけではなくて市民も巻き込んで、みんなで対処していかなきゃいけないと思ひています。

では、議案第1号令和2年度北広島市地域包括支援センター運営方針の採決に入りたいと思ひます。拍手で採決をしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

(拍手)

全員の拍手で承認いただいたということでございます。お手元の(案)を消していただいて、これで令和2年度、運営していただくということです。